

全国民間保育園経営研究懇話会

経営懇ニュース5月号 (No.210)

2021年5月31日

162-0837 東京都新宿区納戸町26-3 保育プラザ3F Tel03-6265-3174 Fax03-6265-3184 gsp10404@nifty.com

経営懇役員リレーエッセイ

地域再生は共同の力で…農福連携の取り組み

森山幸朗(島根・(福)あおぞら福祉会)

最近、島根県の松江、出雲、雲南の書店入口に『縁食論—孤食と共食のあいだ』という本が高く積まれていた(7P参照)。側に特製の山陰オリジナルパネルが置かれ、「奥出雲町出身の著者、藤原辰史氏(京都大准教授)による」とある。読んでみると、記憶にあるかつての農山村での人々の暮らしが随所に紹介されていて、何だか私たちがたいせつにしてきたことと重なり、心安らぐ思いがする。

あおぞら福祉会は、保育園創立から12年後の1990年、多くの支援を受けて法人認可を得て、その後、児童福祉事業に加え、1998年には地域の切実な要求に応じて高齢者(認知症)福祉事業に取り組みはじめた。この頃に、養老孟司と宮崎駿の対談を収録した『虫眼とア二眼』(徳間書店)に出会い、そのなかで宮崎駿が“理想のまち”として描いたスケッチに魅了された。そこには緑いっぱいのまちなかを子どもたちが走り回り、高齢者も元気なうちはまちのために働き、ケア施設も身近かにあり、さまざまな人々が混ざりあい、力を合わせて助け合いながら生きるまちが描かれていた。それは多くの人たちと連携・共同しないと実現できない世界観であった。少人数で事業をやる方が意思決定は速いが、得られるものが少ない。できるだけ開かれていて、いろんな風を送り込むことができる「関わりしろ」がたいせつなのだ。みんなで、我が地域でも理想のまちを築こうと熱く語り合ったものだ。

2013年から障がい者支援事業にも取り組み、この間、保育、教育、福祉分野だけでなく、地域の多様な人と交流、連携の輪を広げる機会を得ることに努めてきた。我が雲南市の課題解決のために、従来にも増して当法人が、関係する個人、団体と共同していく方向に確信をもつことができた。各分野でも共同の取り組みを強化して広げてきた。障がいのあ

る人たちや高齢者のみなさんが、青空の下で地域の大人や子どもたちと関わりながら働き、自立して暮らす風景を共同して実現させたい、そんな願いが重なり、2018年12月に就労継続支援B型事業所「尺の内農園」が誕生した。地域の多分野からの支援者が大きな力を貸してくれている。

農園では、仲間の就労支援と所得向上を目的に、春から秋はワイン用のブドウを栽培し、冬は「三年晩茶」や合間には「和紅茶」を生産し、一年を通して栽培や収穫の仕事をつくる。市内の企業からも仕事を受けることが多くなった。お茶事業は、後継者がいなくて活用されていない良質茶園の提供を受けた。里山再生につながる農福連携の事例として注目を集めている。開設当初から順調に事業を展開でき、多くの人に各種お茶を購入してもらっている。ぶどう事業(ワイン用ぶどう栽培、ワインの委託醸造後の販売)は、予定より早く2020年秋に収穫可能となり、優れた実績のある(有)奥出雲葡萄園で丁寧に醸造、福祉会ブランドの「尺の内農園ワイン2020シャルドネ」として今春にリリースした。

農園には仲間も増え、今後は耕作放棄地や栽培休止の圃場を活用して、赤ワインや生食用ブドウ、他の農作物にも挑戦していきたいと話している。



保育をめぐる情勢

●こども庁の創設の動き

各省庁に分かれている子ども関連の施策を一元的に所管するという「こども庁」の創設に向けた論議が、にわかには活発化しています。自民党若手議員勉強会での議論をきっかけに、次期衆議院選挙もにらんで、党内で検討が行われています（同封の『東京新聞』・『毎日新聞』記事参照）。

各種報道では、子どもに関わる省庁の部署を統合することが柱となるとのことですが、保育制度にどのような影響があるのか、現時点では不明です。自民党としては、6月にまとめられる政府の経済財政運営の指針「骨太方針」に反映させるために検討を行っていますが、5月末時点では「新たな行政組織として創設について検討すること」と記すにとどまりそうです。

◆気になる点は・・・

内容については、子ども・若者を取りまく状況が深刻であることを指摘し、子どもの視点で政策を作るとして、行政組織創設と担当大臣設置、予算の確保等があげられている模様です。乳幼児も対象となるようですが、「幼保一元化」には踏み込んでいない、と報じられています。ただし、『東京新聞』によれば、「小学校入学までに生じる学力格差「小1の壁」解消を重視する姿勢を打ち出した」とされており、就学前の学力問題という形で何らかの動きが出てくる恐れがあります。

◆保育団体の動き

全国私立保育園連盟では、各地方組織を対象に「こども庁創設の動き」に関してのアンケートを実施しています（5/1～24）。こども庁創設の動きが活発化する中で、保育業界として国に対し見解等を示すためとりくむとしています。

<参考>私保連アンケート質問項目(要旨)

- こども庁創設への賛否
- こども庁を管轄すべき省は？:文科・厚労・内閣・他
- 幼保一元化を望むか否か
- 保育行政の直近の課題
 - ①待機児童の解消
 - ②人口減少と少子化における保育機能の維持
 - ③公定価格の増額
 - ④職員処遇の改善
 - ⑤保育士不足の解消
 - ⑥定員未充足の問題
 - ⑦0歳児保育の未充足の問題
 - ⑧公定価格における地域区分の改善
 - ⑨職員配置基準の改善
 - ⑩施設長の資格問題
 - ⑪看護師の増配置
 - ⑫栄養士の基準配置
 - ⑬縦割り行政の弊害
 - ⑭保育所開所時間の改善
 - ⑮保育の質の向上
 - ⑯保育士資格と幼稚園教諭免許の統一化
- こども庁創設後、保育団体は一本化すべきか否か

こども庁創設は、保育団体のあり方に影響を及ぼすことになりそうです。各地域でどのように論議されているのでしょうか。

◆選挙に向けたアピール！？

自民党が「こども庁創設」をうちだす一方で、立憲民主党は「子ども省」設置等の検討を含む「子ども総合基本法」構想を検討し、次の衆議院選挙に向けた公約の目玉としてうちだす方針です（5月27日付『毎日新聞』）。子どもに関わる政策が、選挙に向けたアピールとして扱われていることは否めません。

「こども庁創設」問題が今後どう進んでいくのか不透明ですが、保育制度に何らかの影響を与えることが予想されますので、政党や保育団体・省庁の動向を注視する必要があります。そのうえで、実際に子どもたちの権利が保障されるよう、現場から声をあげ運動を広げていくことが求められています。

●コロナ感染拡大続く…一部自治体で検査拡充の動き

新型コロナウイルスの感染は第4波となり拡大しています。緊急事態宣言は、5月28日現在、10都道府県に発出されています。

保育所でも感染が拡大傾向

これまで感染者が発生した保育施設は2,615か所（5月27日現在・厚労省調べ）、27日時点での休園数は12都道府県46施設となっています。こうした中で、感染者が発生した際の対応が問われる事態が起きています。

4月に大阪府枚方内の保育所で、クラスターが発生しました。はじめに職員1名の感染が判明し、濃厚接触者を特定したり、休園・施設の消毒等、必要な措置がとられました。その後、保育を再開する前に新たな感染者が確認され休園期間を延長する、ということが何回か繰り返され、最終的に、職員や園児等32人とその濃厚接触者9人、合計41人が感染するという大規模なクラスターとなりました。

事態の背景には、PCR検査体制が不十分なことや、濃厚接触者の範囲が狭いこともあると考えられます。他地域の保育所からも「園内で感染が発生しても濃厚接触者が限定的でびっくりした」「園が負担しPCR検査を受けた」といった声が寄せられています。感染が発生した時点で職員・園児が検査を受けられれば、枚方市の事例でも大規模なクラスターとなる前に食い止めることができたかもしれません。感染発生は避けられないものの、それ以上拡大させないための体制づくりが必要です。

自治体独自でPCR検査体制を拡充

国の動きが鈍いなかで、PCR検査体制の整備を進めている自治体もあります。三重県鈴鹿市では私立保育所等の職員が自費で検査を受けた場合の費用補助を予算化しました。広島県では全県

民を対象にPCR検査を実施しました。さらに事業所（10人以上）の検査実施も打ち出しました（5月6日発表）。

寝屋川市では、保育所・幼稚園・小中学等の子どもと直接かかわる従事者を対象とする定期検査事業の実施を4月議会で決めました。ワクチン接種が完了するまでの期間、月2回定期的にPCR検査を実施します。教職員や保育士が感染すると子ども・家庭に大きな影響を与えることから、定期的な検査で無症状でも早期発見し感染拡大を未然に防ぎたい、としています。

先行事例を参考に、各地域でも感染拡大を防ぐ体制づくりが求められています。同時に、国としても感染拡大防止に向けた検査体制の拡充を早急に行うことが必要です。個人任せ・自治体任せでは、感染拡大は止まりません。

地域の動き

●保育士等へのワクチン優先接種の動き

新型コロナワクチンの接種が始まりました。厚労省ホームページよれば、まず医療従事者等、続いて高齢者、基礎疾患を有する方と接種を進める予定とされています。しかし、新聞等報道で見ると、ワクチン接種はスムーズに進んでいないようです。こうした中で、自治体が独自で保育士等へのワクチン接種を計画する動きが出ています。経営懇談会等で把握した情報をお伝えします。

◆「保育士だけでなく職員も対象に」の声を受け優先接種対象を拡大／福岡市

福岡市は、高齢者への優先接種に続いて、市の独自優先接種として介護従事者や教職員・保育士などへの接種を順次行うと発表しています。保育施設については、「ワクチンを接種できない子どもたちへの感染防止のため、福岡市独自に保育従

事者を対象」とする、としています。具体的には、4月26日付で、保育所や認定こども園・地域型保育事業等に、優先接種希望者名簿を提出するよう、市から依頼文が出されました。

4月26日時点の優先接種対象者（福岡市資料より抜粋）

1. ワクチン優先接種の対象者

下記の対象者のうち、昭和32年4月2日以降に生まれた方で、ワクチン接種を希望する方。

【対象者】

施設長（園長）、副園長及び保育従事者（保育士、主任保育士、幼稚園教諭、保育補助者、家庭的保育者、家庭的保育補助者、保健師、看護師、準看護師、子育て支援員）

※福岡市内の施設（保育園、認定こども園、地域型保育事業所）に勤務している方（福岡市外居住者も含みます）が対象です。

※保育従事者は、非正規職員や派遣の保育士も対象です。
※事務員、調理員、警備員などの保育従事者以外の方は対象外です。

この時点では、施設長や保育士等の保育従事者（看護師や保育補助・子育て支援員等）が対象とされ、事務員・調理員・警備員などは保育従事者ではないとして対象外でした。

これに対し、事務員や調理員も含めるべきとする意見が多く出されたようです。会員園の理事も、すぐに市の担当者に要望を伝えました。そうした声も受けてか、5月17日付で対象を拡大することが新たな文書で示されました。

5月17日付文書での対象者（福岡市資料より抜粋）

1. ワクチン優先接種の対象者

業務上、16歳未満の者に接する職員のうち、昭和32年4月2日以降に生まれた方で、ワクチン接種を希望する方。

※ 前回照会で対象としていなかった事務員、調理員、警備員などの保育従事者以外の方も対象です。（前回、提出が湿っていた保育従事者も追加可能です。）

※福岡市内の施設（保育園、認定こども園、地域型保育事業所）に勤務している方（福岡市外居住者も含みます）が対象です。

※非正規職員や派遣の職員も対象です。

このほか、ワクチンのキャンセル分を、保育施設の職員らに接種する方針の自治体もあるようです（福岡県北九州市・兵庫県小野市・千葉県銚子市等）。

ワクチン接種の課題に限らずですが、福岡市の例のように、現場からの要望を伝えていく活動が必要です。同時に、自治体から国に対して意見をあげていくよう、求めていくことも重要です。ワクチン接種でコロナ感染拡大をくいとめるためには、国として、ワクチン確保や、自治体が接種体制を整備するための財政的な支援などを行なうことが不可欠です。保育をはじめ、エッセンシャルワークを担う労働者へのワクチン優先接種といった方針も必要ではないでしょうか。

◆ワクチン接種に関する要望／埼玉県所沢市

所沢市では、会員園が中心となり、保育所職員へのワクチン接種を早急に行うよう求める要望書を提出しました。

2021年5月28日

所沢市長
藤本 正人様

所沢私立保育園連絡協議会
代表 牧 裕子

保育所職員へのワクチン接種についての要望書

私立保育園の運営につきましては、いつもご配慮をいただき感謝しております。

所沢市内のコロナ感染者数は、減少の傾向のないまま1850人を超えるまでになっております。保育園では、職員の消毒、マスク、換気などを徹底しておりますが、保育という営みは「密」を避けることができません。保育士は、保護者との対応等毎日感染の危険にさらされています。自分が感染しないようにすることの緊張感とストレスでいっぱいの毎日です。

所沢市での感染者は、多い日で20名にもなり、最近は大変異株ウイルスのせいか未就学児の感染も増えています。又、保育園職員のコロナ感染者による保育園の休園も起きています。

所沢市でもコロナワクチンの接種が始まりましたが、高齢者、基礎疾患のある方に始まったばかりです。コロナ感染を抑えるには早急にワクチンを接種する以外ありません。幼い子どもたちをコロナから守るためにも下記の要望を早期に実施してください。

記

子どもたちの命と働く保護者の生活を守るために、保育園で働くすべての職員に、年齢に関係なく早急にコロナワクチンの接種をしてください。以上

●ゼロ歳児定員割れ問題

先月号もお伝えしたように、今年度は定員に達しないままスタートする園が増えています。先月号では、経営懇役員での調査（26施設が回答）をもとに、昨年度よりも定員割れの施設が増えていること、市町村の独自補助の有無等をお知らせしました（この調査については、今後、全会員園に対象を広げあらためてアンケート調査を行う予定です。詳細は総会にて）。

◆東京都保育問題協議会と東京経営懇、共同調査

東京都保育問題協議会（東京保問協）が東京経営懇の会員園を対象に、0歳児の定員割れ状況についてアンケート調査しました。

「欠員あり」が約半数、一部自治体に補助金あり

アンケートまとめによると、回答した40園のうち、欠員ありが19園で約半数を占めています。

回答した園のうち、この定員割れについて自治体からの補助があるという園は約4割弱でした。今回のアンケートで分かった補助がある自治体は、練馬区、目黒区、墨田区、豊島区、大田区、足立区、新宿区、江東区、葛飾区、小金井市、羽村市です。

自由記述～定員割れによる影響、自治体への要望

自由記述の一部を紹介します。

○定員割れ

- ・補填あっても1500万赤字
- ・赤字ではないが、賞与を0.1月引き下げた
- ・収入が減っても人件費の支出が変わらない
- ・人件費積立金の取り崩しをせざるを得なくなる。
- ・借金の返済や、人件費等の積み立てができない。
- ・絶対的に赤字になるため、0歳児の職員数を欠員に合わせて削減する必要がある。

○自治体への要望

- ・定員定額制導入を。（同意見多数）
- ・欠員も年度途中で育休復帰もできるメリットがあり、定員定額制が必要。

・以前はが0歳児、1歳児のみ半年間保育単価の6割を補填があったが2020年度に廃止。

・幼児クラスの定員割れは、職員配置基準等を見直していく方向で解決してほしい。

・定員割れが起こっても保育士を解雇することはできないので、各自治体で保障してもらいたい

・コロナウイルスの影響で働き方に変化があったり、勤務先の移動や退職される保護者がいる。

◆自治体独自の補助～広島市、都道府県

こうした定員割れに対し、独自で補助を設けている自治体もあります。

広島市私立保育所等定員払い事務費

広島市には、「私立保育所等定員払い事務費」という独自の補助があります。定員に欠員が生じた場合に、保育所等の運営基盤を確保するために要する費用「定員払い事務費」を支払うものです。対象期間は4月から9月までです。詳しくは、同封の「要綱」をご覧ください。

都道府県の独自補助

保育研究所発行の『保育白書』には、都道府県単独補助事業の調査が掲載されています。調査結果をみると、年度初めに定員の欠員があった場合の補助事業が各地で行われています。例えば、

- ・乳児途中入所促進事業費（埼玉県）
年度当初から乳児担当保育士を雇用している場合、年度当初の3か月分の雇用費を補助する
- ・低年齢児保育促進事業費補助金（岐阜県）
年度途中で低年齢児（0～2歳）を受け入れるための、年度当初からの保育士加配に要する経費を補助する。

等です。他の都道府県の補助もありますので、『保育白書』をご覧ください。

定員割れ問題は、職員の雇用等、経営を揺るがす大きな問題ですが、一方で年度途中に入所できる余裕があることも大切です。各地で状況を把握しながらどう考えるか・対応等、論議しましょう。

コロナ禍での 保育

三重・(福) ひよこ会

こっこ保育園

小柳由美子

はじめに

2020年4月、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための緊急事態宣言が国から発令され、今まで経験したことのない状況に直面しました。「自分が感染源になったらどうしよう」「何をどう気をつければいいのか」という大きな不安を持ちながら、心揺らしながらも「今まで通りに」を心がけながら保育を続けました。四日市市が登園自粛を保護者に呼びかけ、登園率は約4割になりました。長い期間の登園自粛要請でしたので、各家庭に、少しでも「つながっている感」を感じてもらえたらと思い、家族で楽しめるふれあいあそびや室内あそびの紹介を添えた手紙を郵送しました。また、職員の労をねぎらい、法人としては、勤務状況に応じて最大5日の特別休暇を保障しました。

三密回避、手洗い、消毒の励行を行いながら、今に至っているわけですが、この間の保育を通じて、「保育園を開けていること」の意味を実感しています。

どうしたらできる？と考えあって

今までに経験したことのない感染症の拡大は、子どもたちから楽しい経験を奪っています。

田植え

年長親子で楽しむ恒例の田植え。例年通りの5月にはできず、諦めつつありましたが、田植えでお世話になっている園児のお父さんが「もち米植えてみる？」と提案して下さり、例年より1か月ほど時期をずらし、大人の人数を各家庭1名に制限して田植えを行いました。たくさんの実りがあり、秋には親子で稲刈りをし、収穫しました。例年は、園庭でお釜でご飯を炊いて、ぴかぴか光る白米をいただくところですが、今年はもち米、各クラスで芋おこわや磯辺焼きにして食べました。

水あそび

水に戯れてあそぶ夏。普段は着替えに時間のかかる子ども、朝早くから水着と水泳帽姿でままごとをしてプールの時間を待つほど楽しみにしているのに、プールに水をためてあそべなくても、自分たちで水あそびの楽しさを見つけ出し、「なんでプールにはいれやんの？」という言葉も一切ありませんでした。子どもたちは、とても逞しいのでした。

「今」を受け入れ、楽しむ子どもたちに、ただただ感心するばかりでした。職員もその子どもたちの姿に励まされ、塩ビパイプを使ってのシャワーや雨樋を使っての流れるボール転がしを作り、子どもたちと一緒に暑い夏を楽しみました。

動物園行きは中止、「牧場に来る？」

また、毎年秋に、公私立保育園の交流として企画される「名古屋市東山動物園行き」も中止となりました。それを知った園児のお父さんが、「うちの牧場に来る？」と提案して下さり、100頭を超える牛たちがいる牛舎にお邪魔しました。間近に見る大きな牛の姿やうんちやおしっこ、ミルクを飲む子牛、餌やりは子どもたちにとって忘れられない体験となりました。こうい

う時に新たな子どもの姿が発見できるのも貴重です。

いつも通りが大事

お泊り保育や卒園式なども時間や内容、感染対策を行い、中止するのではなく、「どうしたらできるのか」を職員で考えあってきました。「いつも通りやれなくて残念だけど、先生たちが色々考えてくれていることに感謝です」という保護者の言葉やマスクが品薄の時に1箱のマスクを抱えて来てくれたOBのお父さんたちに元気をもらいました。

今回のことで改めて、緊急事態が起きても、保育園は「いつも通り開園している」ことができる場であるべきで、日頃からその準備をしておくことが大事だということ学びました。

課題は保護者との関係づくり

コロナ禍で一番の悩みは、保護者との関係づくりです。こっこ保育園では、「共育て」を大事にしています。子育ては決してひとりではできないし一人でやるものではないということ、言い換えれば子どもも大人もたくさんの仲間の中でこそ育つ、そんな意味合いを大事にしています。また、保護者と職員で取り組む、「こっこまつり」や文化的なイベント企画、署名活動。どうしてやるのか、それは子どもにとってどんな意味があるのか。活動を通して、職員と保護者が保育や子どもが育つ環境を一緒に考える場を大事にしていきたいと考えています。

しかし、コロナ禍で、活動の大切さなどを親から親へ伝えてもらう文化が減っていることは大きな痛手です。新入園家庭は、今の状態が当たり前なので、コロナ感染が終息して活動を従来通り再開させた時、「共育て」の精神はどうなっているのか。それが大きな悩みであり、大きな課題です。

今何が必要なのか、みんなで話し合っ

コロナ禍で、園内外の活動が思うようにはいきませんが、その中で、やり方を工夫しながら、参加できるものを吟味しながら子どもたちが育つ環境を大人が守っていけるよう、共に学び、力を合わせていく機会を大事にしたいと思います。

元理事長の生前の言葉、「ひよこ保育所（こっこ保育園の前身）は必要だったから、みんなで育ててきたのよ」。子どもらのため、働く女性のため、今何が必要なのかをみんなで話し合っていく。その歴史を引き継いでいくことを忘れずに大変な今を乗り切りたいと思います。



★巻頭三エッセイに登場した書籍紹介 『縁食論——孤食と共食のあいだ』

藤原辰史著・ミシマ社刊



世界人口の9人に1人が飢餓で苦しむ地球、義務教育なのに給食無料化が進まない島国。ひとりぼっちで食べる「孤食」とも、強いつながりを強制されて食べる「共食」とも異なる、「あたらしい食のかたち」を、歴史学の立場から探り、描く。

現代社会が抱える政治的、経済的問題を「家族や個人のがんばり」に押し付けないために。

お知らせ

●総会、Zoomで開催 6月28日(月)13~17時

2021年度経営懇総会を、6月28日に開催します。Zoomを使用し、オンラインで開催します。ぜひ、ご参加ください。

※議案書、当日のZoom案内は、6月中旬にお送りします。

●第53回合研(広島) 法人・園ぐるみで、保護者 と一緒にご参加ください!

第53回合研集会は、2021年7月31日~8月1日、広島で開催されます。コロナ禍での開催のため、対面とオンラインを併用したハイブリッド形式での開催となります。

コロナの感染状況によって、開催方法等も臨機応変に対応する必要がありますが、オンラインで参加できることから、全国どこからでも参加しやすい条件があります。

そこで、法人・園の研修や、保護者と職員の共同のとりくみに位置付け、ご参加下さい。

◆53回合研のおすすめポイント!

- 録画配信で全ての企画(分科会を除く)を視聴できる!
- オンラインで参加(視聴)できるので、距離に関係なく参加できる!
- LIVEで視聴したあと、録画で何回でも視聴できる!(期間限定)
- 職員研修・保護者会にも活用できる!
- みんなで一緒に見て、その場でしゃべれる!
- 合研を一人でも多くの人に知らせるチャンス!!

コロナのなかでの

わたしのストレス解消法

入浴タイムに入浴剤を

いろいろ!

いつもより、ちょっと高めの入浴剤
でちょっと気分を変えて…

リラックス効果大ですよ

(園長・50代)

【経営懇・活動日誌】5月

- 5月7日(金)事務局うちあわせ会議
- 5月9日(日)全保連第44回総会
- 5月15~16日(土~日)保育学会。
- 5月17日(月)三役会。総会議案作製。
- 5月31日(月)役員会開催。総会の議案をもとに、深める論議を行なう。



同封資料

- ①「こども庁創設」問題
関連資料
- ②53回合研案内書
- ③広島市私立保育所等定
員払い事務費支弁要綱